

第34回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

B.情報・防災・交通

【HP 掲載No.B03】

発表No.	B 03
タイトル	新たなモビリティ導入に向けた試み － 郊外住宅市街地を対象とし持続可能性検討－
所属・名前	国土交通省 国土技術政策総合研究所 益子 慎太郎 新階 寛恭 株式会社オオバ 河井 裕紀 国土交通省 国土技術政策総合研究所 石井 儀光 復建調査設計株式会社 吉野 大介 川口 充洋 大橋 慶佑 株式会社福山コンサルタント 高井 洋志
キーワード	① 都市の持続可能性 ② 郊外住宅市街地 ③ グリーンスローモビリティ
<p>高度成長期以降に開発された郊外住宅市街地は、オールドタウン化が進行しており、高齢化等により自立的に移動することに困難を伴う住民が増えている。持続可能なまちづくりのためには、郊外住宅市街地を地域の拠点として再生し、郊外地域の再編・集約化を図ることが肝要であり、都市のコンパクト化やスマートシティの実現が急務である。</p> <p>本研究は、このような実情を背景として、都市の再編・集約化に資する郊外住宅市街地の再生に不可欠な交通サービスの確保や適切な密度での郊外居住を推進することによる新型コロナウイルス対策への寄与を目的とし、郊外住宅市街地 3 地区を対象として電動小型カート(グリーンスローモビリティ)を活用した実証実験を実施した。</p> <p>本論文は、新たなモビリティ導入にあたって、適切なルート設定の考え方や求められるサービス水準を明らかにするため、アンケート調査等から得られた実験結果を横断的に整理・分析したものである。</p>	